

# 労働対策部 活動報告

労働対策部長 厚朴 善太  
労働対策部付 石井 景子

## 《一年を振り返って》

平成 26 年度は、県では平成 27 年 3 月 7 日（土）に講師としてろうジョブコーチとして矢野耕二氏にお越しいただき、ろうあ相談員&ジョブコーチ講演会「ジョブコーチについて」を行い、その後、手話協力員及び千通研労働班との意見・情報交換の場を兼ねた懇談会を行った。

その他、関東では各都県労働対策部長会議に 1 回出席（厚朴労働対策部長）、全国として埼玉県浦和・岩槻市で行われた「第 19 回全国職業安定所手話協力員等研修会兼ろうあ者労働フォーラム」、「2014 年度労働担当者会議」に参加（厚朴労働対策部長と石井労働対策部付）した。

将来、「手話言語法」が制定されたら、聴覚障害者の労働環境がどう改善されるか、手話が言語と位置付けられたとしてもコミュニケーションには言葉遣いによる聴覚障害者と健聴者との認識の違いなど課題があることを改めて学んだ。（ろう者間では笑い合えるような言葉遣いも健聴者に出すと不快に思われたり、誤解を招くことがある、など）コミュニケーションの根底には、これまでの個人の生き方・情報の入手の環境（聾学校育ちや普通の学校育ちの感覚の違いなど）が大きく影響していることを強く感じた。（例えの言葉「道草」も本当に道の草を食っていない！というろう者もいるなど）

## 《事業報告》

### ●千葉労働局への要望申入れ

日 時) 平成 26 年 6 月 20 日 (金)

場 所) 千葉労働局

協力者) 増田伸也 (福祉対策部付)

内 容) 要望・交渉内容

- 1) 手話協力員設置の予算増加と稼働時間の増加
- 2) 手話協力員要綱で、手話協力員依頼の窓口をろうあ者の団体へと明記してほしい
- 3) 全国職業安定所手話協力員等研修事業を厚生労働省主催で開催してください
- 4) 聴覚障害者のジョブコーチ事業の拡充
- 5) 公的機関「障害者就業・生活支援センター」を利用しやすくするため手話通訳士・者の配置を

- 6) 障害者合同面接における手話通訳派遣は広域性から県レベルの手話通訳派遣事業所に申請を

### ●第1回関東ろう連盟労働対策部長会議

日 時) 平成26年7月12日(土)PM1:00~4:00

会 場) 東京聴覚障害者自立支援センター(渋谷区)

出席者) 増田伸也(福祉対策部付・関東ろう連盟労働対策部長)

内 容) 議題

- 1) 出席者の自己紹介
- 2) 各都県の労働関係の活動状況の情報交換
- 3) 第37回関東ろう者大会 in 茨城の分科会「企画のつどい」に向けて第37回関東ろう者大会の分科会「企画のつどい」にて、「手話言語法」が制定された場合に聴覚障害者の労働環境がより効果的に改善されるためには、今制定を待つのではなく環境づくりから動き始めることについて話し合った。

### ●第2回関東ろう連盟労働対策部長会議

日 時) 平成27年1月10日(土) PM1:00~4:00

会 場) 東京聴覚障害者自立支援センター(渋谷区)

出席者) 増田伸也(福祉対策部付・関東ろう連盟労働対策部長)

厚朴善太(労働対策部長)

内 容) 議題

- 1) 出席者の自己紹介(部長変更の所の紹介)
- 2) 各都県の情報交換(各都県労働対策部としての活動報告)
- 3) 今後の研修関係(関東ろう活動者研修会や全国労働フォーラム)で労働分野にかかる対応について「手話言語法」との関連から、労働関係で反映させるかと意見交換を行った。

### ●第19回全国職業安定所手話協力員等研修会

日 時) 平成27年1月30日(金)~31日(土)

会 場) 1日目: 埼玉県・さいたま市民会館うらわ

2日目: 岩槻駅東口コミュニティセンター

参加者 厚朴善太(労働対策部長)・石井景子(労働対策部付)・増田伸也(助言者)

内 容) 【パネルディスカッション】

メインテーマ『長く働き続けるために』

手話協力員(テーマ「手話協力員から見た聴覚障害者の就労について」)

ハローワーク(テーマ「聴覚障害者の就労を考える」)

研究者(テーマ「調査結果からみる、聴覚障害者が働く職場における問題」)

【分科会】

〔第1分科会〕聴覚障害者の労働問題に関する事例研究①

～働きやすい環境づくりとその支援のあり方～

〔第2分科会〕聴覚障害者の労働問題に関する事例研究②

～聴覚障害者への情報保障や職場定着、技術取得時の支援のあり方～

## 〔第3分科会〕手話協力員要綱への提言について

### ●2014年度全国労働担当者会議

日 時) 平成27年1月31日(日)PM2:00~4:00

会 場) 岩槻駅東口コミュニティセンター

出席者) 厚朴善太(労働対策部長)・石井景子(労働対策部付)

内 容) 議題

- 1) 平成26年度の重点取り組みについて
  - ・中央交渉
  - ・厚生労働省労働政策審議会障害者雇用分科会の動きについて
- 2) 情報交換
  - ・労働局及び職安との要望交渉活動
  - ・手話協力員制度の問題、支援専門員の状況等
  - ・加盟団体労働担当の活動状況
- 3) 来年度の労働フォーラムについて

### ●相談員研修会&ろうあ労働問題講演会

日 時) 平成27年3月7日(土)PM1:00~5:00

会 場) 千葉聴覚障害者センター3階研修室

参加者) 32名

内 容) 労働対策部と福祉対策部の合同企画で聴覚障害者のジョブコーチ・ソーシャルワーカー矢野耕二先生を講師に招いて2つのテーマ①「相談員の傾聴」②「ジョブコーチとは」について講じていただいた。専門的な内容に合わせて、ろうあ相談員・ピアサポート・手話協力員などが参加した。今後のジョブコーチ導入に向けて、非常に役に立つ内容だった。

※「ジョブコーチ」の手話表現について矢野氏はコーチのことを“教える”のではなく“支える”の表現がいいとのこと、これは上からの目線ではなく、同じ目線から相手の気持ちを引き出す姿勢が重要だと感じさせられた。(相談員の傾聴も全く同じ!)

### ●手話協力員懇談会

日 時) 平成27年3月7日(土)PM5:30~6:30

会 場) 千葉聴覚障害者センター3階研修室

出席者) 12名

内 容) 手話協力員間でのハローワークの職務状況についての意見・情報交換を行った。県センターから、ハローワークにおける手話協力員の置かれる立場や職務内容の範囲などについて指摘あり、他聴覚障害者にかかる情報がある場合は情報提供をお願いしたいと出された。また、全国労働フォーラムから出た情報の手話協力員要綱の件についても説明した。

### ●2014年度決算・活動報告書確認等の打合せ